1日~7日は





口

FIRE

平成31年2月 9 믕

> 30 年

> 10

月 27

日(土)西多摩衛生組合にて、震災訓練が行わ

が行われました。各市町から一分福生、羽村の福生消防署管内の各

第

発行:消防団広報誌編集委員

可搬ポンプ搬入



−斉放水



ました。福生消防署の元で瑞穂、 消防団の自主的な連携を図る訓練が行われました。各市町から 平成

平 成 30

年度

震災消防訓練

ないので、持ち運びが行える可搬ポンプを使用しての練習となりま した。可搬ポンプ3台と水槽3基を使用して、ホースを沢山(16本 送水を行いました。 発生し、10棟が延焼していることを想定して、近隣の消防団の連携 第1分団が参加しました。多摩西部に大規模な地震が起き、 団ずつ参加し、計3個消防団が参加しました。今回、瑞穂町からは 訓練名の通り震災を想定しているため、ポンプ車が現場まで入れ 火災が

消

防

可

活

動

なことと認識いたしました。 の消防団との連携を図ることは、 といけないと再確認させていただきました。それに加え、 送水の中断にならないように周囲に注意して、ホースを伸ばさない て、送水を行いました。 為(約80m)、送水圧や、水槽の水位に注意しながら、 位) つなげ水槽で中継をし、送水を行いました。 水を送る距離が長 実際の震災現場だと、 建物の倒壊などいろいろな要素がある為、 大規模な火災現場では、 (担当 無線を駆使し 他の地域 1分団)

無線でのやりとり

消防団総合訓練が実施されました

10 月 28 日(日)に消防 団総合訓 練が実施され

となっております。 に対応出来るのか、日頃の訓練が活かされる演習 訓練内容も知らされることなく、副分団長指示の 元、各分団が如何に迅速に行動し火災・自然災害 この訓練は分団長不在という状況下で、一切

災発生を想定した訓練でした。 今回の訓練内容は西多摩衛生組合での建物火

らの緊張した訓練となりました。 ス距離28mに渡る長距離放水は、 水利確保、 本部からの出火報を受け出動、迅速に現場到着 各分団のポンプ車を中継し送水、ホ 本番さなが

きを隠せませんでした。 けましたが、署隊と消防団の放水性能の違いに驚 訓練後は福生消防署から放水機器の指導を受

た1日となりました。 うる災害に迅速に対応していけるのだと実感し このような訓練を経て、消防団員は日々起こり (担当 4分団









した。 今後も、消防団の活動へのご理解を得られますように広報活動を

消防団を魅力的な組織としてPRしていきたいと思います。



輪投げに夢中



会場での展示車両

瑞穂町産業まつりに参加して

とスカイホールにて瑞穂町産業まつりが開催されました。 気にも恵まれ、会場には大勢の方々が来場されていました。 11 月 10 11日は、第1分団がポンプ車の車両展示を行いました。 日(土)・ 11 日(日)両日にわたって、ビューパーク競技場 10 日は第

内容を理解していただくアピールの場となりました。来年度からは、 投げていました。悔しく、再度後ろに並んで行うお子様もいました。 りきっていました。後方では輪投げを行い、苦戦をしながら、輪を 等が展示されました。触れたり、乗車したりする機会が少ないため、 女性消防団員も就任されます。会場では、女性消防団員の募集もさ お子様たちには人気で、 て記念撮影を行いました。その様子は、未来の消防署員・団員にな また、来期に向けて消防団員の募集を行っており、消防団の活動 展示車両は、ポンプ車のほか、 興味がある方が、活動内容の説明を聞かれている場面もありま 子供用の防火服をまとい、ポンプ車に乗っ 福祉バス、航空自衛隊の軽装甲車

(担 当

林 野 火 災 消 防 演 習

式

習が行われました。 12月9日(日)都立野山北・六道山公園において、林野火災消防演

的にしています。 消防活動を展開することにより、消防活動技術の向上を図ることを目 これは、六道山において火災が発生したことを想定して、実戦的な

ないため、結構大変です。 槽へ水を送ります。ホースを長い距離運んで繋いでいかなければなら まず、坂の下から、ホースを中継して、石畑公園前に設置された水

した。これは、主に水利のないところで、使われます。 狭山丘陵の豊かな自然を守るためにも、こうした大規模な訓練はと ジェットシューターという背負式の水嚢を使っての訓練も行いま 最後は、火点に向けて一斉放水を行い、演習は終了しました。

ないよう、お願いします。 ても重要です。 タバコのポイ捨てなど、火災の原因となるようなことは、絶対にし

(担当 2分団)



-ス中継





方々の支えのなか消防活動を行っているのだと改めて感じました。 行いました。沿道では笑顔で手を振ってくださる方もあり、 団ポンプ車が後に続き、警鐘を鳴らしながら各町内、詰所等の巡回を 式が挙行されました 平成 31 年 1 月 13 日 (日) 町営第2グランドにて、消防団による出初 午前 9 時、防災無線サイレンを合図に、本部指揮車を先頭に全分 瑞 穂 町 消 防 団 出 初

礼、人員報告、機械器具点検 は規律ある整列、 開式の辞に始まり、団旗敬 暖かい日差しの中、副団長の と進み、総勢10余名の団員達 午後からの式典は快晴で 行動を見せ

でいき、次に出初式で一番の見せ場となるポ をいただき、消防団による分列行進へと進ん 町長告示、団長訓示、来賓の方々のご祝辞 ました。

だきました。今後も地域の方々と支え合いな だく方も多く、たくさんの歓声や拍手をいた 放水するのですが、この光景を観に来ていた よろしくお願いします。 がら消防活動を行っていきたいと思います。 ンプ操法・放水を行いました。 全5分団で異なる色のついた水を一斉に (担 当 5 分団



町民の



第3分団消防ポンプ自動車引渡式・

渡式が多くのご来賓のご臨席のもと挙行されました。 月 26 日(土)石畑の御嶽神社にて、 第3分団消防ポンプ自動車引

町長ヘプレートキーが渡されました。次に杉浦町長より関根消防団長 ヘプレートキーが、町田第3分団長へ配備証が渡されました。 初めに消防ポンプ自動車引渡式が行われ、日本機械工業㈱から杉浦

次に行われた入魂式では、新しい消防ポンプ自動車での交通安全

活動安全が祈願されました。

術の向上に励んでまいります。 ではすべてのポンプ車が2トン車になりました。車両は小さくなりま したが、性能は格段に上がっており、3分団員一同、 ン車でしたが、新しい消防ポンプ自動車の配備により、瑞穂町消防団 今まで使用していた消防ポンプ自動車は瑞穂町消防団最後の4ト 更なる知識と技

躍してくれることを願っております。 ケーン市へ行くことが予定されており、 以前の消防ポンプ自動車は瑞穂町と交流のあるタイ王国のコーン 現地での安全・安心の為に活

3分団



町長から第3分団長へ



安全祈願



第3分団記念撮影

文化財防火デーに伴う消防演習

実施されました。 1 月27日(日)御嶽神社にて、 文化財防火デーに伴う消防演習が

財防火デーと定め、 起こった火災を機に、文化財防災推進のため毎年1月26日を文化 文化財防火デーとは、昭和 24 年 1 月 26 日に奈良の法隆寺金堂で 全国各地で文化財防火運動が展開されてい ま

れました。 たが、定刻より遅れ、 という想定で行われました。演習開始直前に火災の出動がありまし 風にあおられ拝殿に飛火して出火、消防隊到着時には 10 ㎡延焼中 4分団、神社関係者などが参加し、境内で行っていた焚火の火が突 演習を行いました。演習は福生消防署、瑞穂町消防団第3分団、 今年は石畑地区にある瑞穂町指定有形文化財の御嶽神社で消防 演習を再開し、消防団のみで一斉放水が行わ

ることができました。 今回の演習により更なる文化財愛護意識と防火意識の高揚を図

3分団)



現場から戻り、 そのまますぐ演習へ



署隊が不在でも、 消防団が町を守ります!